資料３－１

３　道立高校の市町村への移管

これまでの対応方針と主な成果や課題等

【現行指針(抄)】H18.8

○　地元市町村から高校を核とした地域振興や特色ある学校づくりを進めるため、市町村立高校として設置の要望がある場合は、当該市町村と移管について協議を進めます。［第６章５］

【指針の検証結果報告書(抄)】H28.10

１　主な取組の内容

○　地元市町村から高校を核とした地域振興や特色ある高校づくりを進めるため、市町村立高校への移管の要望がある場合は、当該市町村と協議を進めてきた。

２　主な成果や課題

○　奥尻高校については、奥尻町から地域の教育環境の維持やより地域に密着した特色ある高校づくりを進める観点などから、町立高校としての存続について要望があり、その趣旨を踏まえ検討し、平成28年度に町立移管することを決定した。

３　今後の方向性

○　道立高校の市町村への移管について、今後も要望があった場合は、市町村と協議を進める必要がある。

資料３－２

市町村立高校の主な取組について

特色ある市町村立高校の例

◆　**おといねっぷ美術工芸高校【工芸科　定員４０名、「工芸コース」と「美術コース」を設置】**

美術の授業で作品を制作している様子

生徒が作成した工芸作品

○　「工芸コース」は２年生では、機械を使った木材加工の学習を、３年生では、卒業制作として家具などの工芸作品を製作する。
○　「美術コース」は２年生では、デッサンや油彩など基礎的な表現方法を学習し、３年生では、卒業制作として１００号の絵画などを制作する。
○　大学の教員による出張授業や本校の生徒を対象とした大学のキャンパスで実施される講義の受講のほか、北欧のデザインや文化を学ぶためスウェーデンの高校と姉妹校提携を結び交流を行っている。

◆　**三笠高校【食物調理科　定員４０名、「調理師コース」と「製菓コース」を設置】**

調理師コースの実習

製菓コースの実習

○　「調理師コース」は日本料理を中心に、西洋料理や中国料理などの技術を学び、決められた単位を修得することで、国家試験免除で調理師免許を卒業と同時に取得できる。
○　「製菓コース」は、製菓に使う食材や、製菓・製パンの操作の科学的根拠など、技術の習得に必要な知識を学び、専門学校の通信教育を受けることで製菓衛生師の国家試験受験資格を得る。
○　休日の食堂を借りて運営する「まごころきっちん」では、調理や接客、食材調達、コスト管理を生徒が行いコミュニケーション能力や実践力の向上を図っている。

道立から町立に移管した高校の例

◆　**奥尻高校【普通科　定員４０名　平成２９年４月から連携型中高一貫教育を導入】**

○　移管の経緯
　奥尻町では、町内の２つの中学校を平成２９年を目途に統合することと併せ、中高の連携を一層進める観点から新設する中学校について、奥尻高校の校舎の一部を活用する方策も含めて検討が進められた。こうした中、中高がより一層連携した教育活動の展開及び島の子どもたちが島に居住しながらより地域に密着した特色ある高校教育を受けられる環境の整備などの観点から、中高一貫教育の導入を目指し、奥尻高校を町に移管した上で、町立高校として存続させたいと奥尻町から要望があった。
○　奥尻高校の取組
・スクーバダイビングや奥尻島の課題を探求して解決を図る奥尻パブリシティの実施
・中高の６年間を通じて上級生が下級生をサポートする「メンタリングシステム」の実施
・ＩＣＴを活用して、難関大学に在籍している大学生による個別指導が受けられる「Ｗｉ－Ｆｉニーネ」の実施など

市町村立高校の配置状況

Ｈ２８．４．１現在

●：全日制課程
▲：定時制課程

◆普通科－ 18校 80間□
＊単科校… 16校 ＊総合校… 2校

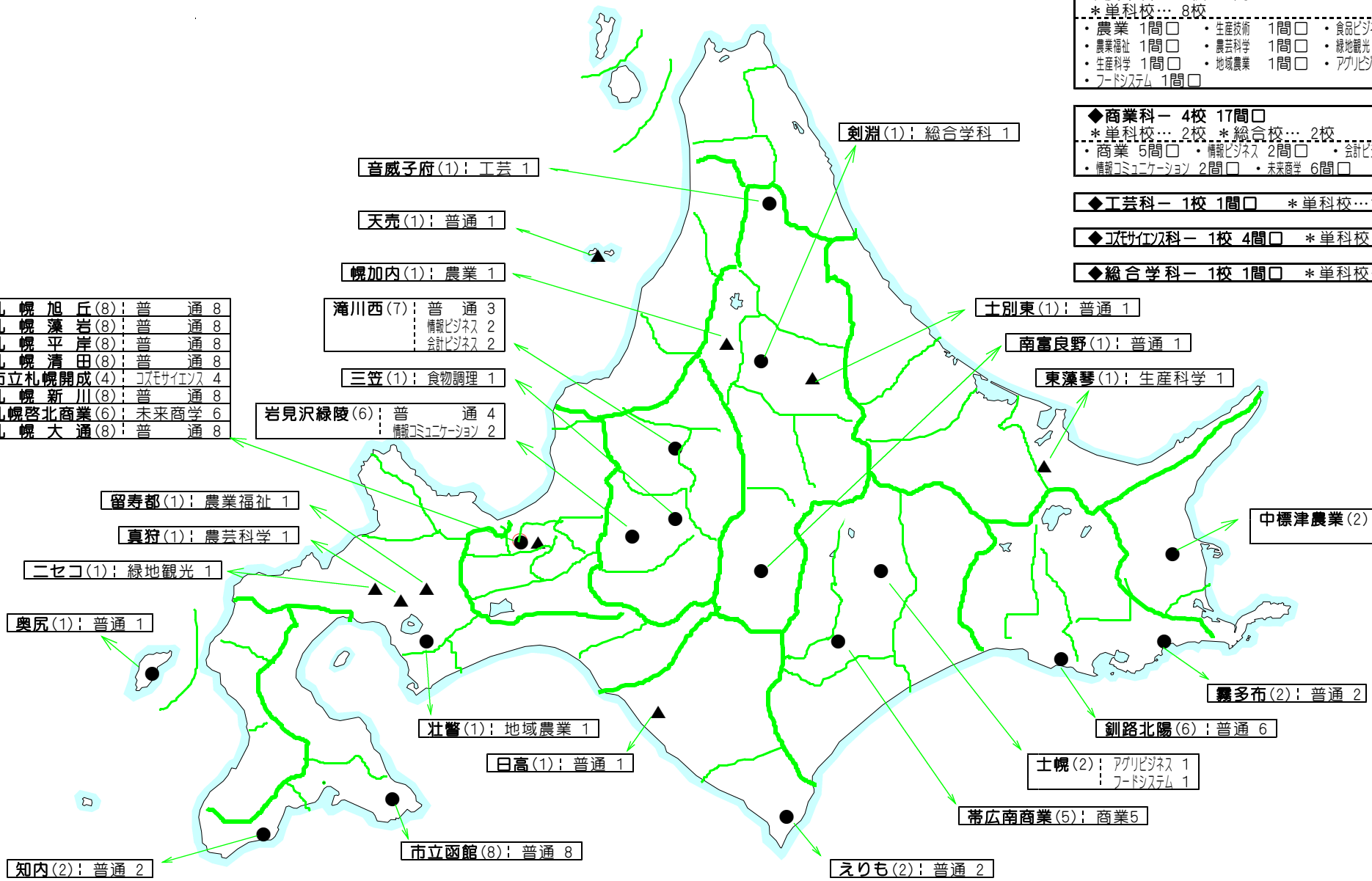
◆農業科－ 8校 10間□
＊単科校… 8校
・農業 1間□ ・生産技術 1間□ ・食品ビジネス 1間□
・農業福祉 1間□ ・農芸科学 1間□ ・緑地観光 1間□
・生産科学 1間□ ・地域農業 1間□ ・アグリビジネス 1間□
・フードシステム 1間□

◆商業科－ 4校 17間□
＊単科校… 2校 ＊総合校… 2校
・商業 5間□ ・情報ビジネス 2間□ ・会計ビジネス 2間□
・情報コミュニケーション 2間□ ・未来商学 6間□

◆工芸科－ 1校 1間□ ＊単科校…1校

◆コスモサイエンス科－ 1校 4間□ ＊単科校…1校

◆総合学科－ 1校 1間□ ＊単科校…1校



資料３－３